



池沼(部分)

令和4年度 長野県飯田創造館 企画展

滝沢具幸 水墨画展

2023 1/26(木)~2/7(火) 入場無料

9:00~17:00 (2/1(水)は休館日/最終日は15:00)

長野県飯田創造館 ●301号室
ふれあい創造ギャラリー

飯田市小伝馬町1-3541-1 TEL0265-52-0333

主催 長野県飯田創造館

共催 長野県 長野県教育委員会

- ・新型コロナウイルス感染防止のため、ご来館の際は、検温・手洗い・手指消毒・マスクの着用等にご協力ください。
- ・新型コロナウイルス感染症の状況により、延期や中止の場合もあります。当館ホームページや電話でご確認ください。



当館HPもご覧ください



滝沢具幸 水墨画展

この度、飯田創造館で「水墨画展」を企画展示していただくことになりました。

飯田創造館では片桐白登先生の南画講習の後、毎年水墨画の講習会を行うようになって、随分長いこととなります。

私と水墨画との出会いは東京芸術大学に在職中、芸大の資料館に所蔵されていた川端玉章の「附け立て」作品を沢山模写したことから始まります。玉章は菱田春草が学生の頃の東京美術学校の教授で、その模本は学生の前で直接描きながら教えたものです。

「附け立て法」は、輪郭線を用いなくて筆先に濃淡の墨または絵具を付け、毛筆のふくらみを利用して陰影や立体感を同時に表現する技法です。円山応挙が用いたのが始まりのようです。墨を使った絵画は画仙紙や和紙などに墨の滲みや溜まり、線描の美しさなどを生かし、墨と水との微妙な調子を表現するという魅力ある技法です。

私にとっても墨は、胡粉や岩絵具などの顔料とともに日本画の表現に欠かせない重要な素材です。

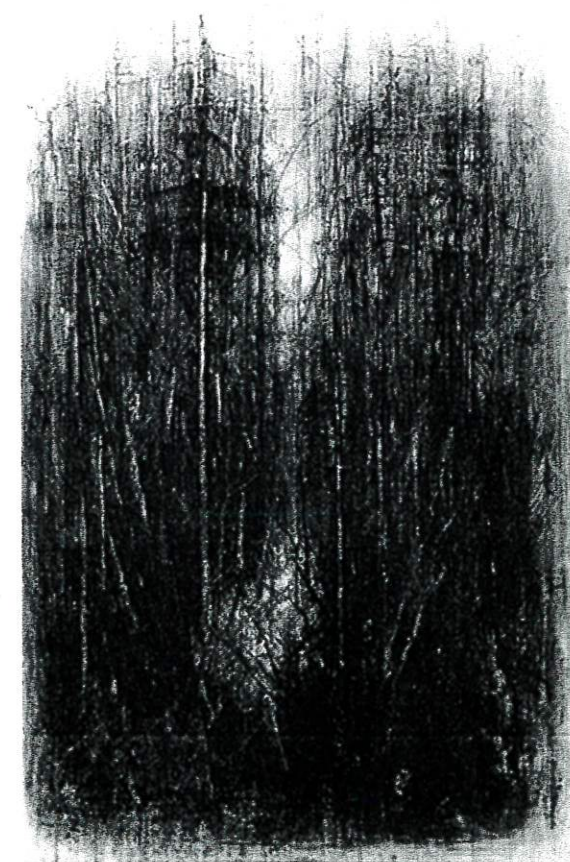
今回水墨画での発表は、附け立て写生の画帖40余点と、主に樹木や水をテーマに、古典をふまえながら今日の表現も加えた墨の作品を出品します。ご覧いただけましたら幸いです。

2023年1月 滝沢具幸

題名	タテ	ヨコ	cm
01 山路-I	210	135	cm
02 山路-II	210	135	cm
03 原野	72.7	90.9	cm
04 原-A	60.6	72.7	cm
05 原-B	60.6	72.7	cm
06 地	80.3	100	cm
07 池沼	80.3	100	cm
08 溪谷	80.3	100	cm
09 カオスの地	90.9	72.7	cm
10 水の景	90.9	72.7	cm
11 月沼	72.7	90.9	cm
12 森の奥	72.3	51.5	cm
13 森	90.9	72.7	cm
14 凍林図	180.0	360.0	cm



山路-I 210×135cm



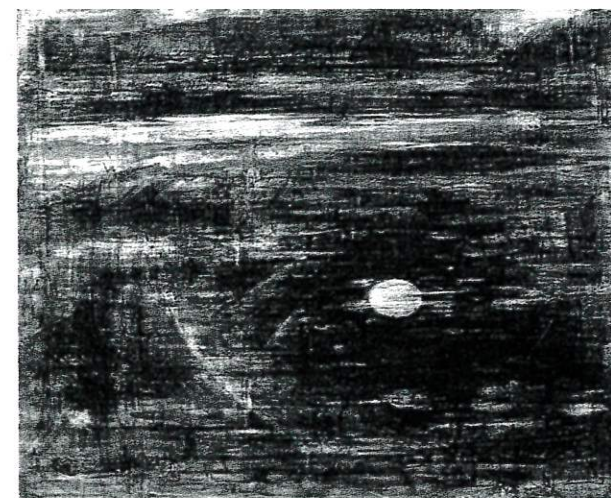
山路II 210×135cm



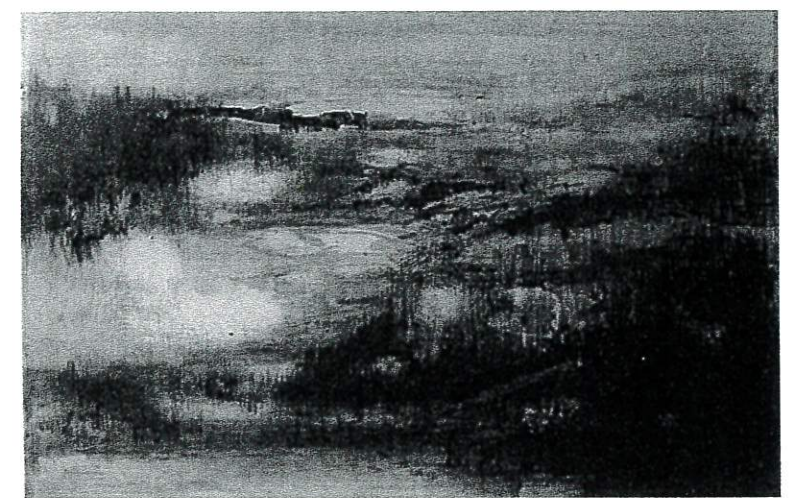
水の景 90.9×72.7cm



森の奥 72.3×51.5cm



月沼 72.7×90.9cm



原野 72.7×90.9cm



溪谷 80.3×100cm

附
け
立
て
写
生
を
帖
面
に
し
た
作
品
集

